

## 5. 利活用ワーキングの記録

### 【日 時】

平成 27 年 (2015 年) 3 月 21 日 (土・祝) 13:00 ~ 14:45

### 【場 所】

白石保健センター講堂

### 【次 第】

- 1 開会／オリエンテーション  
(札幌市：市民まちづくり局地域振興部区政課区役所整備担当課長 東山 葉一)
- 2 昨年度までの振返り <資料 1>  
(コーディネーター：株式会社石塚計画デザイン事務所)
- 3 区民協働スペースに係る考え方の整理について  
今後における利活用ワーキングの進め方について <資料 2>  
(札幌市)
- 4 アドバイザーからの総括講評  
(アドバイザー：北海道大学大学院工学研究院准教授 小篠 隆生)
- 5 次年度の開催、今後のスケジュールについて／閉会  
(札幌市)

### 【配付資料】

- <資料 1> 平成 25 年度白石区複合庁舎整備に関する検討会と利活用ワーキングの概要  
(検討会資料 1 と同じ)
- <資料 2> 仮) 区民協働スペース利活用ワーキングのまとめ・今後の進め方  
(検討会資料 5 と同じ)

### 【意見交換等の概要】

#### ①座長から

- ・札幌市側で想定してくれている平日夜間、休日の利用についてのシステムづくりをしていかなければならないというのは、検討会で当初から出ていた話であり、非常に望ましいことである。区民に努力する場を与えてもらったうえで、今度は区民の側でもいろいろと努力していくことが必要である。また、民間事業者との共存、連携もしっかり行っていかなければならない。

#### ②主な意見等

- ・「区民協働スペース」の申し込みや備品の貸出の窓口がワンストップになるのは非常に良い。できれば平日の夜間や休日も、使うだけではなくて申し込みや相談ができるとう良い。
- ・区民協働スペースについて、ポプラ若者活動センターが関わり、その人件費が必要な場合はどうなるのか検討が必要である。

- ・単発のイベントの貸しスペースで終わらないように、関連づけたり育てたりアドバイスしたりするところも必要だと思う。

#### <札幌市からのコメント>

- ・窓口については、できると決まったわけではないが、利用者の視点に立つとワンストップが良いと考えている。
- ・基本的には既存の予算、枠、人数の中でやりくりをしないといけないため、札幌市内部でも今後整理する必要がある。
- ・ポプラ若者活動センター、区民センター、地区センターやその他活動団体など連携しながら仕掛け、仕組みづくりを行っていきたい。

### ③アドバイザーからの総括講評

- ・札幌で初めて区民協働スペースができようとしている。区民センターや絵本図書館やちあふる、またここに入っていない団体も含め、ここから地域に積極的に関わられるようになったというメリットを生むために、理念を強く打ち出し共有化することが大切だ。また、収益を生むための仕組みや条例づくりも視野に入れる必要がある。